

2007年度ナショナルチーム（NT）数の基準について

1. 2007年度ナショナルチーム（NT）数

NT全体数をJOC強化指定選手指定数と合わせた原則36名とする。これに併せて2006年度ナショナルチームにおけるランキング制度を一部修正する。

2. 対象艇種

(1) 強化対象オリンピック艇種

北京オリンピック特別委員会が下記条件から検討し強化対象と認めた艇種。

ア、重点強化種目（470男子、470女子）

イ、活動実績（全日本選手権大会、NT選考大会、世界選手権大会獲得成績）

ウ、活動状況（全日本選手権、NT選考大会、世界選手権大会参加状況）

エ、活動環境（活動選手層）

オ、艇種別オリンピック出場実績

470男子

470女子

レーザー

ラジアル女子

49er

RSX男子

RSX女子

合計7艇種

(2) その他のオリンピック艇種

上記（1）以外のオリンピック艇種。

3. 艇種別NT数（基本艇数・人数）

(1) 強化対象オリンピック艇種

470男子	4艇	8名	
470女子	3艇	6名	
レーザー	3艇	3名	
ラジアル女子	2艇	2名	
49er	1艇	2名	
RSX男子	3艇	3名	
RSX女子	2艇	2名	合計 26名

(2) 艇種別上限艇数

- ア. 強化対象オリンピック艇種：艇種別 NT 数（基本艇数） + 1 艇
- イ. その他のオリンピック艇種：1 艇

(3) 追加割り振り（入れ替え制度）

NT 全体数上限 36 名から「強化対象オリンピック艇種」基本艇数の人数 26 名を引いた残数 10 名について、2006 年度個人別ランキングの上位艇種から人数を割り振る。ただし **3. (2) 艇種別上限艇数** を超えないこととする。

人数が割り切れない場合はマネジメント委員会の判断で調整する。（例：残り 1 名のところに 2 名の艇が入った場合など）

(4) 個人別ランキングは 2006 年世界選手権等の成績をもとに決定する。

(5) 強化対象オリンピック艇種、その他のオリンピック艇種の実績・活動状況において大幅な変動があった場合、**3. 艇種別 NT 数（基本艇数・人数）** を変更する場合がある。

4. NT に対する処遇

(1) 36 名の NT 全体数は 2007 年度強化事業の補助対象選手とする。

*艇種別ランキング、個人ランキングにより補助内容は異なる

(2) サプライヤーからの支援対象選手とする。

5. NT 以外の選手に対する処遇

オリンピックキャンペーンを遂行するに当たり必要とあれば申請に基づき「オリンピック強化対象選手」（仮称）等の名称をオリンピック特別委員会として認め、可能な範囲で支援を行う。

以上